

地域のもりから学ぶ森林づくり2013

「森林の生物多様性を学ぶ」 第四回森林教室



苗木をいれます



どの苗木にしようか



まずはカミネッコづくり



カミネッコを置きます



乾燥防止の水まき



小さな山取苗の採取

元気に帰れらるわいの森林へ

本年度の「地域のもりから学ぶ森林づくり2013」第四回森林教室は九月二〇日（金）に定山溪中学校及び奥定山溪国有林（二一―五林班）観測地で実施しました。

内容は三年前観測地周辺で採取したミスナラやイタヤなどの種から苗木をつくり元の奥定山溪国有林に返そうという内容で、森林の持つ力を感じ取り生物多様性について学習していく内容となっております。

この苗木を古里の山に帰す方法として、誰もが取り組みやすく安全に行えるバイオブロック（カミネッコ）を使用しました。

まず最初にバイオブロックを作成します。これは自然に帰る素材の段ボールで出来ている「カミネッコ」を使用し組み立てていきます。組み立てが完成すると次に苗木と土をこのブロックの中に入れて完成です。

これを観測地周辺に三〜四個を一組にして設置すると完成です。完成したブロックに乾燥防止の水を皆でかけて終了しました。また、帰りにはダケカンバやハンノキの幼苗採取も実施しました。これも何年後には森へ返す計画です。

設置した樹種はミスナラ五八本（平均高二〇cm）・コシアブラ三本（二五cm）・イタヤ二九本（十六cm）となっております。

